



第2部 排他的経済水域 (EEZ) と日本の海洋開発

日本周辺国の動向と 海洋開発に伴う日本の抑止力

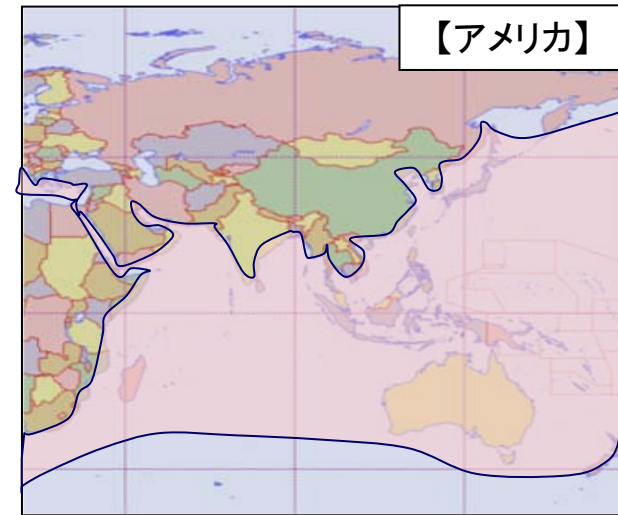
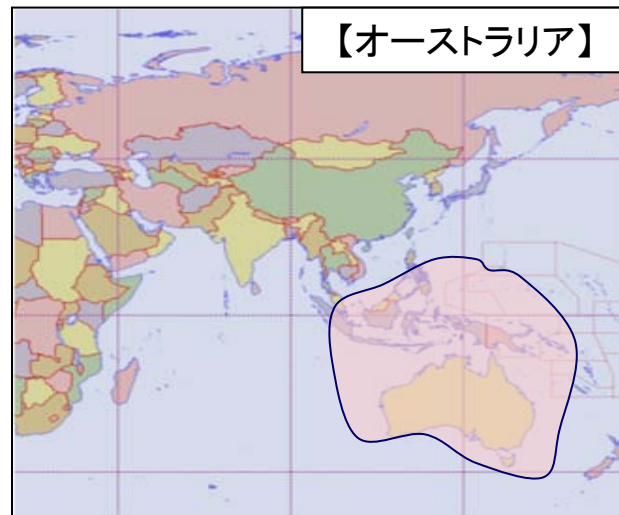
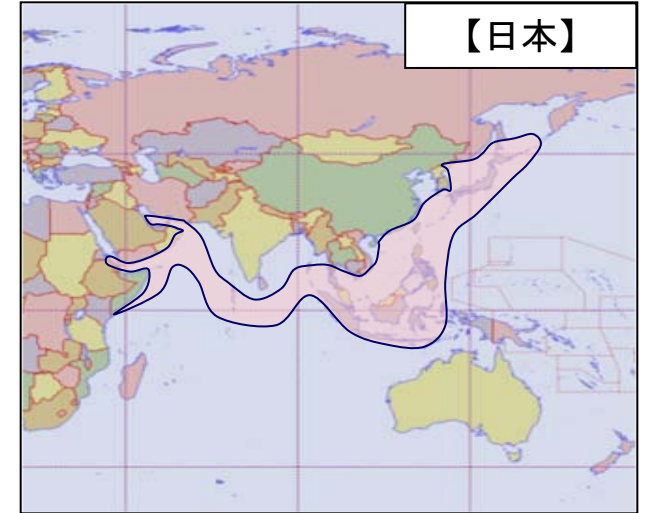
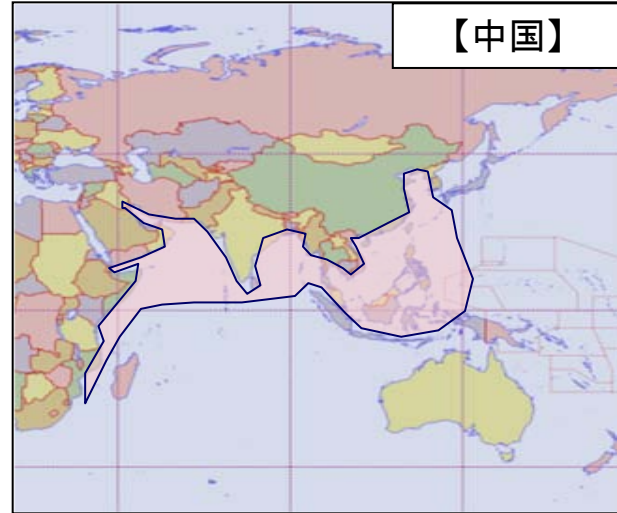
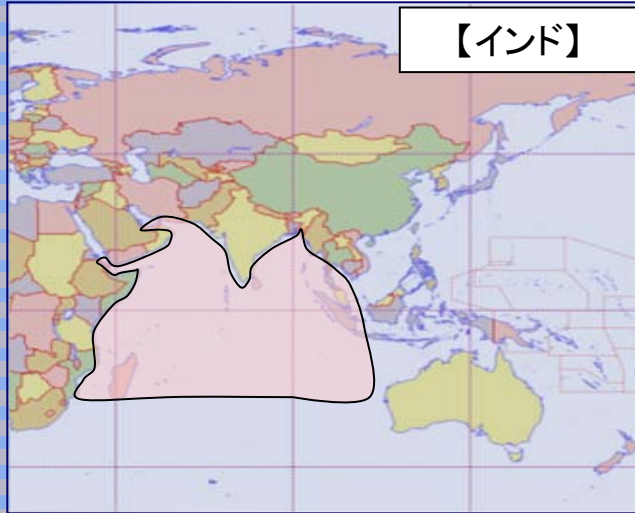
2010.09.22

古庄幸一

株式会社NTTデータ



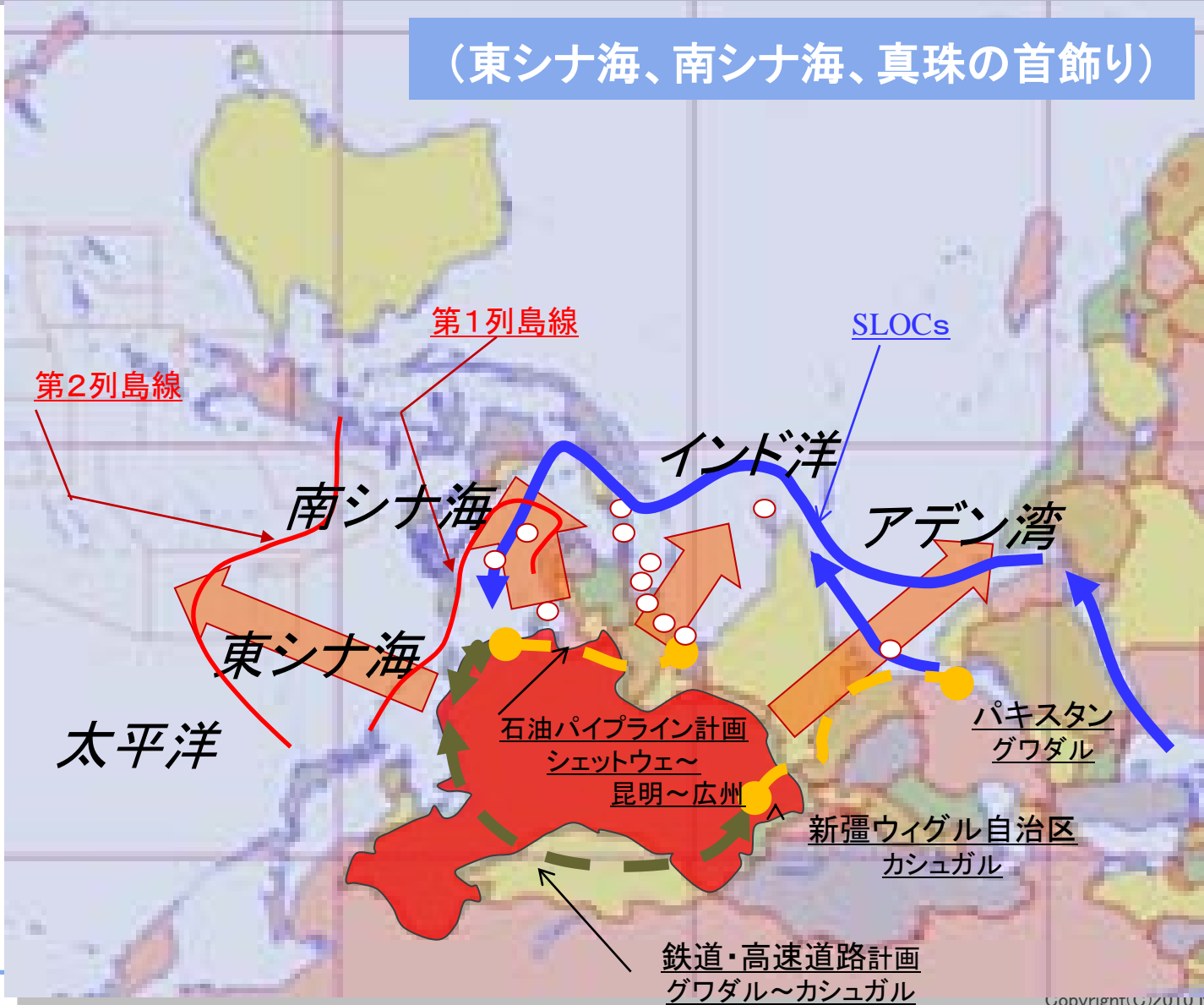
アジア・太平洋海域における海洋領域の認識（新しい海洋地政学）





新しい海洋地政学に基づき外洋展開を目指す中国

(東シナ海、南シナ海、真珠の首飾り)





中国にとっての南シナ海の位置付け

- 1 西沙・南沙諸島の領有権問題
- 2 天然資源の確保
- 3 中国にとってのSLOCsの保護



SLOCs



「南沙是我国土
神聖不容侵犯」

- ◆ 石碑・標識等の設置
- ◆ 建造物の増改築
- ◆ 島嶼保護法の成立

※ 写真の出典：インターネット等、各種一般情報 12



インド洋情勢：沿岸拠点確保の動き



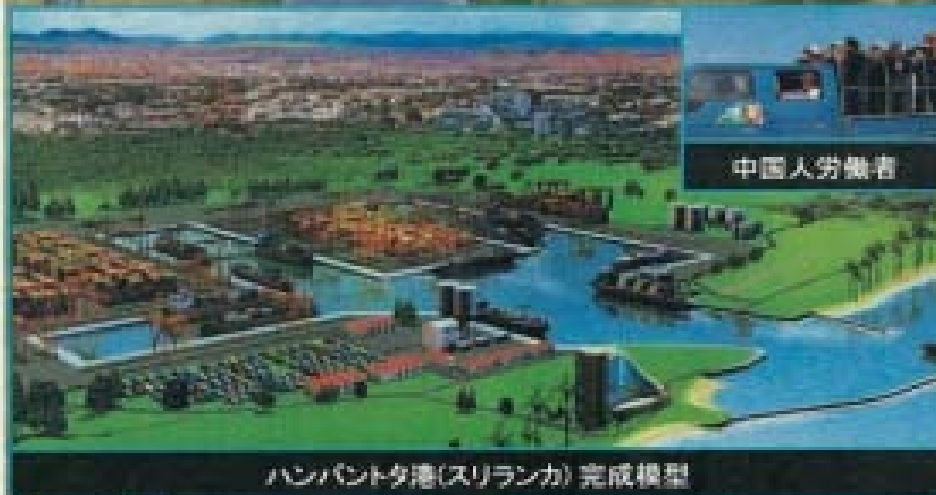
グワダル港(パキスタン)



グワダル港(パキスタン)の監視兵



高台から一望するチッタゴン港(バングラデシュ)



ハンバントタ港(スリランカ) 完成模型

中国人労働者



シットウェ港(ミャンマー)

16

※ 写真の出典：インターネット等、各種一般情報

我が国を取り巻く海洋権益の現状(最近のニュースより)

中国

- ・5月4日
中国船、日本EEZ内で
海保測量船調査を妨害
- ・7月17・18日
「交戦2010」中国
- ・7月下旬
中国 大規模実弾演習 / 監視支隊設置
- ・9月11日
ガス田交渉延期
- ・9月15日
全人代交流団来日中止

台湾

- ・9月14日
台湾漁船、日本の接続水域に侵入。尖閣諸島への上陸を断念。

北朝鮮

- ・3月26日
韓国海軍哨戒艦問題
- ・5月15日
北警備艇 韓国境界線を侵犯

ロシア

- ・6月末～7月上旬
「ポストーク2010」軍事演習
- ・7月14日
ロ大統領、「統合戦略司令部」創設に関する大統領令に署名。陸海空一体運用へ

日本

- ・5月4日
東シナ海ガス田日中局長級協議
- ・9月7日
尖閣沖、中国漁船、海保巡視船と接触
- ・9月9日
尖閣沖接触漁船・中国人船長を逮捕

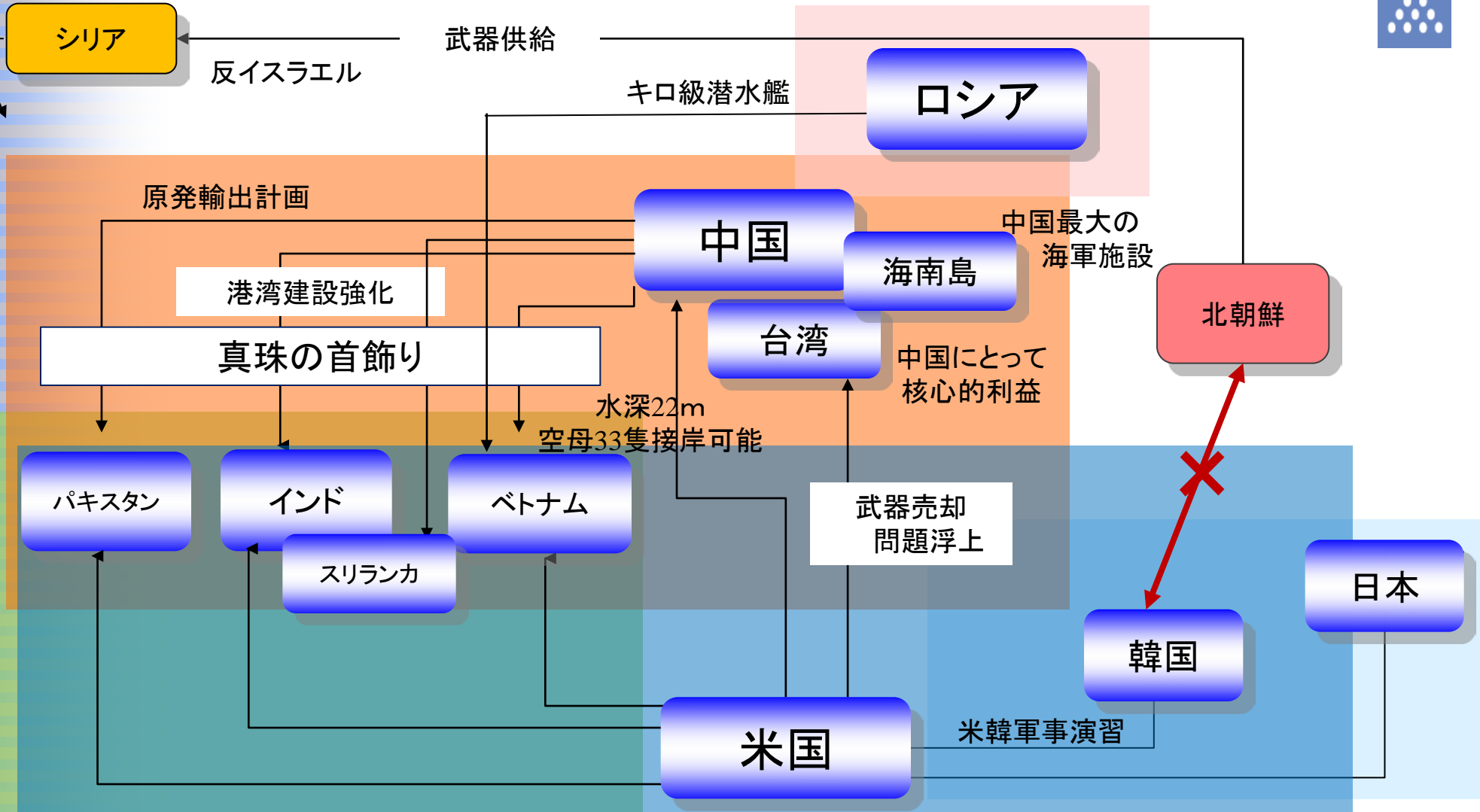
米・韓

- ・7月21日
米韓国2プラス2
(外務・国防閣僚会議) 共同声明
- ・7月下旬
米韓合同軍事演習

南シナ海警備強化
(IMB: 国際海事局)



米国、中国の海洋外交状況



欧州 (宗主国)



中国による「三戦」

「輿論戦」

Media Warfare

中国の軍事行動に対する大衆及び国際社会の支持を築くとともに、敵が中国の利益に反するとみられる政策を追求することのないよう、国内及び国際世論に影響を及ぼすことを目的とするもの

Psychological Warfare

敵の軍人及びそれを支援する文民に対する抑止・衝撃・士気低下を目的とする心理作戦を通じ、敵が戦闘作戦を遂行する能力を低下させようとするもの

Legal Warfare

国際法及び国内法を利用して、国際的な支持を獲得するとともに、中国の軍事行動に対して予想される反発に対処するもの

「心理戦」 「法律戦」

9

出典：米国防省による議会への年次報告書「中国の軍事力2009」

日本の排他的経済水域における防空識別圏(ADIZ),飛行情報区(FIR)

中国
「anti-access/aread denial
(接近阻止・領域拒否)」

戦略的空白
・九州以南の有人島(190島)のうち
自衛隊駐在島は5島。
・与那国島周辺は高度4,500m以下の
空域はレーダーの死角





海洋(海底鉱物資源)開発情報共有と国内外アクセス管理



JODC(海保) 海洋開発危機管理DB

- ・ 日本のEEZへの関心度分析
周辺国動向把握
- ・ 開発妨害情報の管理
妨害予測・予防
- ・ 危機管理情報の現場への提供

日本の海洋インテリジェンスは
大丈夫か？

- (1) オシント(OSINT; Open Source Intelligence)
- (2) ヒューミント(HUMINT; Human Intelligence)
- (3) シギント(SIGINT; Signal Intelligence)
 - ・ コミント(COMINT: Communication Intelligence)
 - ・ エリント(ELINT: Electronic Intelligence)
 - ・ アシント(ACINT: Acoustic Intelligence)

国内外のアクセスログ解析は？
・ 費用・人材は足りているか？